

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■フランネルフラワー 害虫対策を目的とした天敵放飼実証

フランネルフラワーは、県内花きの主要な品目として栽培されており、下呂市では馬瀬地区の生産者1戸（栽培面積20a）が切り花フランネルフラワーを栽培しています。

農業普及課では、当地区のフランネルフラワー栽培の課題となっているハダニ類等の微小害虫の発生対策に取り組んでおり、防除技術の確立に向け農業技術センターや農業経営課と連携し実証を進めています。

花き類は登録農薬の種類が少なく、同一系統薬剤の連用による薬剤感受性低下が起きやすいため、今回の実証では、物理的防除と薬剤防除、天敵放飼を組み合わせた「総合防除（IPM）」による微小害虫防除技術の確立を目指しています。

今年度はハダニ類等の微小害虫の発生状況と放飼した天敵の定着状況を把握するため、頭数調査を定期的に行っており、今後も農業普及課では、ハダニ類等の微小害虫の発生状況を調査し、微小害虫防除技術の確立を図っていきます。

【頭数調査の様子】



（地域支援係）